

やよい 弥生のお墓

カイトとリュウさんの
かいせつ やよい解説



ここにはでっかい土器と四角い木の箱があるな。

どちらも遺体を入れる棺だよ。

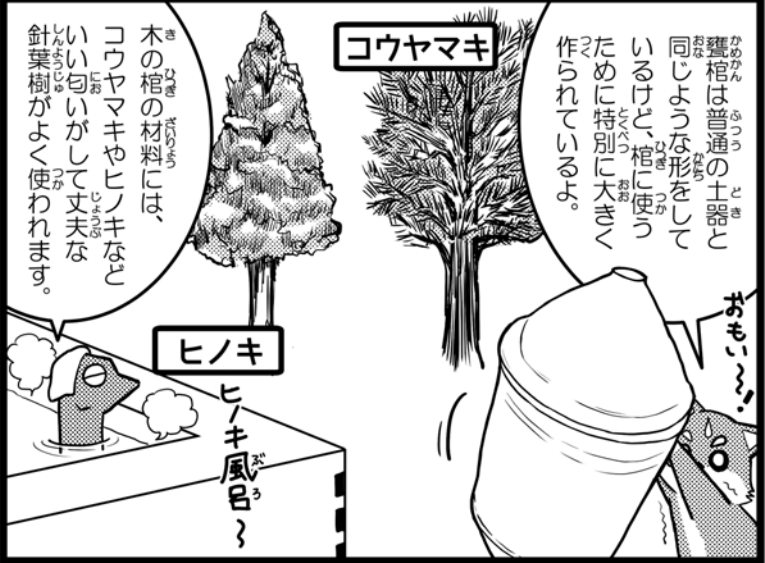
弥生時代のお墓は地域ごとに違っていて、中に入れる棺の形も違うんだ。

四角い木の箱は大阪でみつけたもの、大きな土器は福岡でみつけた土器の棺で、「甕棺」といいます。



お墓には棺以外にも、銅鏡や銅剣、管玉など立派な品物が一緒に入れられていることもあるんだ。王様や村長のような身分の高い人のお墓だったのかも知れないね。

そういうお墓は、お墓そのものも大きくて立派なんです。



甕棺は普通の土器と同じような形をしているけど、棺に使うために特別に大きく作られているよ。

コウヤマキ

木の棺の材料には、コウヤマキやヒノキなどいい匂いがして丈夫な針葉樹がよく使われます。

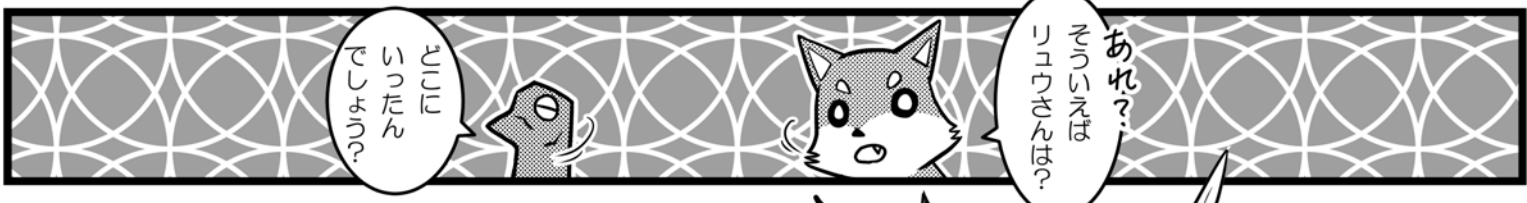
ヒノキ

ヒノキ風呂



ふしん お墓を造るのって大変やなあ。

それだけ亡くなった人を想う気持ちが強かったってゆうことかな。今の人と変わらんかな？



どこにいったんでしょう？

あれ？... そうですね、リュウさんは？



どや、おどろいたやろ。

弥生時代の王様がよみがえったのかと思ったよ。



ばあ

はあーい！